

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第 5 回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 相談支援部会(定例会) 会議録	
日時	令和 7 年 9 月 26 日(金) 15:30 ~ 17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 401 会議室
出席者	ウィング、若葉台特別支援学校、発達障害者支援 C、ゆめ、ハーモニー、かのん相談室、てらん広場、いわまワークス、たちほどがや、延命法律事務所、コンシェル、エススタイル、地域生活支援 C、タキオンネクスト、常盤台病院、オレンジ、区役所、いっしょ。 グリーンフォレスト、花みずき、恵和、わおん、光の丘、夢 21、生活 SC、ゆめ、基幹 ◆進行管理=恵和 ◆記録=ゆめ ◆受付=基幹・区
欠席者	西部就労、更生相談、反町福祉機器、なないろ、かけはし、光風会、みらいライフ、西部療育、はーとらんど、十愛病院、サポートセンターオリーブ、トイロ、包摂
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <u>非公開</u>
議題	<u>1、事務局より:相原部会長(15:30-15:35)</u> ・開会のあいさつ <u>2、事例検討Ⅱ【グループスーパービジョンの体験(実践)】</u> (15:35-17:25) 講師:五浦氏(グリーンフォレスト 主任相談支援専門員) ファシリテーター:五浦氏(同上)、上村氏(光の丘)、黒川氏(花みずき)、 前沢氏(生活支援 C) ① GSV の実践前の導入説明(15:35-15:40) ② GSV の実践スタート(15:40-17:25) 15:40 グループで各自自己紹介 15:45 報告 ※説明含む 16:00 質問 ※説明含む 16:20 絞り込み 16:25 提案(課題に沿ったアイデア出し) ※説明含む 16:45 具体的なプラン検討 17:05 振り返り(事例提供者の気づき・バイザーの助言) 17:15 事例提供者とバイザーより発表・総括 ◆当日振り返り 1G:事例検討に引っ張られることがあったくらい、ファシリしながらの仕切りの大変さ、勉強になった。丁寧に支援されていて皆で褒めちぎった。事例検討ばくなくなったが、バイザーがスムーズに修正してくれてすごいと思った。要約をしながらニーズを集約するのがすごい。事例提供者がエンパワメントされたな、と見えた。 2G:五浦さんの進行、項目ごとに説明を挟みながらでやりやすかった。事例提供者らしい支援というところ(良い点を)しっかり伝えられれば良かった。事例提供者が降りたい、と思っていたのが前向きになってよかった。皆否定的にならなかったのも、安心して発言できた。 3G:時系列が長々とまとめられていたので最初に介入。提供側のノウハウがあった方がよい。ツールに基づいたやり方が良さそう。「元気になりました」、という言葉が本音だった様なの良かった。事例に行きたくなってしまうのは意識しなくては。実習生の意見は慣れてない視

点が新鮮でよかった。

GSV の効果が見られてよかった。

4G:楽しかった。枕詞を「事例提供者」~~で~~に徹底したことで、「自分の名前をよばれて新鮮だった」と事例提供者から感想があった。現任研よりもすごくよかった。合間合間の説明やタイムキーパーが良かった。GSV の経験がここや現任研しかないが、項目毎の理解が進んだ。具体的な提案が出しづらかった。

タイムキープ:結構難しい。各 G の盛り上がりがあるので。各 G と目くばせできれば。

黒川さん:事例出したいと思う人が結構いたのではないかな。

五浦さん:題材を提供しただけ。保土ヶ谷区版をどうしていくか。ケースを投げっぱなしにして終わらせないようにするには、保土ヶ谷としてどう取り組むかー

◆振り返り(後日、各 G 記録者から集約)

●1G

<事例提供者>

褒めてもらってありがとうございました。自分の避けてきた部分に気付くことができました。今回出していたアイデアも参考に、支援方針を検討していきたい。

<参加者>

- ・みんなで意見を出し合う大切さを学びました。
- ・みなさん、前向きな意見だったので、いいなと感じました。自分も元気をもらいました。
- ・グループで話し合うからこそ、沢山の意見・アイデアが生まれる。

●2G

<事例提供者>

本人の望むニーズがうすっぺらくて、本当はどこにあるのが気づけていなかったのが大きな気づき。課題ではなく希望、ということは大事に。ストレングスは何か、気になった。好きなこともパチンコ以外に何かないか聞ければ。

<参加者>

- ・グループ SV ならではの新たに気づきに気がついた。
- ・辛い状況でも支援者としてあきらめない気持ち、向き合い方が学びになった。人に聞いてもらうことで肩の荷が下りた。
- ・あきらめず色々なアプローチがすごい、など。
- ・4 年やってきてもやめなくなるくらい辛いことがある、ということは気づき。活かしていきたい。
- ・頑張っているな、ということと事例提供者らしさ、人柄が見れた。
- ・ライフステージの変化との向き合いに、皆躓くということが振り返られてよかった

●3G

<事例提供者>

本人だけでなく、自分自身もネガティブになっていた。思ってもいないアイデアをいくつももらえ、ポジティブになることができた。

<参加者>

- ・参加者同士がケア的に参加することができていた。
- ・「ほめる」など当たり前のことが見えなくなることがあり、自分のケースにもあてはまるので振り返

ることができた。

- ・行き詰ったときに、このように拡げることで新たな発見があることに気づいた。
- ・本人にとって支援者は大事な存在。本人を知りたいという当たり前の気持ちが必要。
- ・何も進んでいないとあるが、いろいろ関わってきたことで、角度を変えれば少しでも積みあがっているはず。本人が切れずにつながっている事実が実績。
- ・この仕事は孤立しがち。脳がパニックになり視野が狭くなる。GSV を体感してエンパワーされた。
- ・自己覚知にもつながった。

●4G

<事例提供者>

主語が「〇〇さん（事例提供者）」なので、質問にも安心感を持って答えられた。また、一連の流れを通して気づいていなかったことにも気づくことができた。

相談員同士で共有したり頼ることの大切さにも気づいた。

<参加者>

- ・このような難しいケースを担当していることに拍手を送りたい
- ・事業所から「やりなさい」と言われて関わるケースのようだが、大変なことが良くわかった
- ・相談員を主語にした検討は新鮮で楽しかった
- ・協議会が相談員同士の共有の場になればよいと思う

3、情報提供等（17:25－17:30）

①事業所訪問について

【9月の予定】⇒ 9月 30 日（火）AM みらいライフ PM 偕恵いわまワークス

【10月の予定】⇒10月 22 日（水）PM エススタイルほどがや

10月 23 日（木）PM たっちほどがや

10月 24 日（金）PM

② 計画相談の実施状況

※先月の共有と同様。

【計画相談の実施状況】R7年7月末実績（8月主任連絡会）※R7年6月との比較

	対象者数 （障福サービス＋ 地域相談利用 者）	計画相談 決定数	計画相談未決定者				実施率 （計画相談＋介 護保険利用 者）	事業所数
			介護保険利用者 （ケアプラン）	セルフプラン 希望者	事業者が 見つからない	その他		
保土ヶ谷	1823 （＋9）	909 （＋9）	85 （－2）	354 （＋11）	474 （－8）	9 （＋0）	54.5% （＋0.1）	23 （＋0）
18区 計	29,107 （＋110）	16,407 （＋90）	1,487 （＋6）	6,023 （＋57）	5,118 （－45）	72 （＋2）	61.5% （＋0.1）	280 （＋0）

4、閉会の挨拶：相原部会長より

・次回予告 ・メのあいさつ

次回 相談支援部会

日時：令和7年 11 月 28 日（金）15:30～17:30

場所：保土ヶ谷区役所 地下会議室

内容：勉強会Ⅱ 虐待防止・権利擁護研修